

令和3年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

百年の伝統と実績の上に立ち、グローバル社会において真のリーダーとして世界に貢献できる人物を育成する学校。

- ◎ 基礎から発展まで「生徒が思考する授業」、「力のつく授業」を展開し、3年間を見通した進路指導により生徒の希望進路を実現する。
- ◎ 「チーム住吉」で教職員が一丸となって、国際交流や行事、生活指導を行い、「自主・自律」を体現する生徒を育てる。
- ◎ 世界で信頼され尊敬される品格と豊かな国際感覚、人権感覚を有する生徒を育てる。

2 中期的目標

世界に貢献できる人物を育てるため、生徒につけたい力を定め、その実現へ向けた取り組みを行う。

【5つのつけたい力 (Five Sumiyoshi Qualities)】

- 1 将来を見通せる深い洞察力と世界を見据えた視野の広さ
- 2 異文化を受け入れることのできる包容力と鋭い人権感覚
- 3 理念のみならず、行動に移せる実行力とバランス感覚
- 4 世界で通用する語学力とコミュニケーション能力
- 5 科学に対する真摯さと謙虚さ

1 学力向上と進路実現

- (1) 生徒の自己実現を図るための学力、体力、気力の育成
 - ア すべての教科で「つけたい力」と「具体的方策」を明確にし、学校全体で共有し評価する。
 - イ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進する。
 - ウ 3年間を見通した進路指導を着実に実行する。

※ 国公立大学合格者 100 名以上 (H30 57 名、R01 57 名、R02 62 名)

2 国際・科学高校としての質的な深化

- (1) 国際文化科と総合科学科のさらなる進化
 - ア 課題研究の内容を深化させる。
 - イ ルーブリック評価によって生徒の思考力、表現力等を向上させる。
- (2) 世界で通用する語学力とコミュニケーション能力の育成
 - ア 授業や行事を通じた「使える英語力」をさらに向上させる。
- (3) SSH、ユネスコスクールの取り組みの充実
 - ア ①課題研究の質的向上 ②国際共同研究 ③小中高大・産学連携 ④卒業生による「住高支援ネットワーク」を充実させる。
 - イ ユネスコスクール加盟校として平和学習、人権学習を充実させる。

※ 学校教育自己診断「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」90%以上を維持する。(H30 93%、R01 92%、R02 94%)

※ 「科学関連、国際理解などの外部講師の話はためになった」90%以上を維持する。(H30 90%、R01 89%、R02 -%)

3 世界で信頼され尊敬される品格と豊かな国際感覚、人権感覚の育成

- (1) 人権を尊重する意識の向上
 - ア 人権 HR をさらに充実させるとともに、きめ細かな相談支援体制を確立させる。
 - (2) 生徒の自主的な活動の充実
 - ア 自治会活動、部活動をさらに充実させる。
 - (3) マナー・規範意識等の育成
 - ア 挨拶・清掃・遅刻指導を徹底する。
- ※ 学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある」90%以上を維持する。(H30 93%、R01 95%、R02 97%)
- ※ 各行事や取組の生徒満足度 90%以上を維持する。(H30 93%、R01 94%、R02 95%)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和 4年 1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【教育活動】 「学校生活が充実している(生徒 94%、保護者 91%)」、「住吉高校に入学してよかった(生徒 95%、保護者 93%)」、「他の学校にない特色がある(生徒 97%、保護者 92%)」と高い評価を得た。 授業について生徒の肯定的評価は(昨年度 84% ⇒ 今年度 88%)と増加し、また、評価についても肯定的評価(昨年度 90% ⇒ 生徒 94%)と、昨年度よりも高い結果であった。さらに研鑽を積んでいきたい。 創立 100 周年記念事業の一環として一昨年度に設置した全教室の電子黒板の活用は、「授業で ICT 機器がよく活用されている(生徒 96%)」と肯定的意見が多かった。</p> <p>【学校生活】 「困っていることには真剣に対応してくれる」は 93%、「担任以外に気軽に相談できる先生がいる」が 77%であった。例年と取組み内容に変化はないが、高い数値で推移している。 「学校の指導は適切である(生徒 88%、保護者 91%)」であり、昨年度より若干増加している。今後もより一層、適切な指導に努めたい。 人権、命について学ぶ機会について、(生徒 95%、93%、保護者 92%、91%)で、ともに 90%を超える肯定的意見であった。</p> <p>【その他】 「学校の施設・設備は、学習環境面で満足できる」は(昨年度 生徒 77%、保護者 67% ⇒ 今年度 生徒 84%、保護者 72%)と改善された。一昨年度の南館のトイレの改装と創立 100 周年記念事業による食堂の改装をしたことによると考えられる。今後も老朽化、設備の維持管理が課題である。自然災害や交通機関の乱れ等への対応の周知について保護者の肯定的評価が 85% ⇒ 79%と減少した。コロナ対応等での緊急連絡が増加したが、その他の活用についても検討していきたい。</p>	<p>第1回(6/22) ○探究活動について ・生徒の知的好奇心やニーズに応えることができる住高支援ネットワークはとてもよい取り組みだと思う。 ・同様の課題を研究している高校生たちとオンラインでつながることができれば、よりよい探究活動につながるのではないかと。 ○観点別学習状況の評価について ・誰のための評価なのかということを考えると、生徒がより学習に前向きになり意欲をもつためのものにすべきであろう。</p> <p>第2回(10/26) ○校風について ・自由な校風は大変よいのだが、生徒たちが自由をはき違えているようにも感じる。 ・住吉高校はできるだけ自由を大切に、広い視野で物事を見て、柔軟な発想ができる生徒を育ててほしいと願っている。 ・「自由」を教育の対象としてどのように捉えるかというのはとても興味深い。議論を深めていくと非常に面白いのではないかと。</p> <p>○自治活動について ・コロナの影響でほとんどできていなかった自治会活動を、また少しずつでも再開してもらいたい。そのために必要なことがあれば、後援会も積極的に援助していきたい。</p> <p>第3回(2/24) ○SSHについて ・夏休みの前後でメニューを変えるなど、進路につなげるような導き方ができれば、選択者の増加に結びつくのではないかと。 ○働き方改革について ・数字だけでは測れない部分もあるのではないかと。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1 学力向上と進路実現	<p>(1) 生徒の自己実現を図るための学力、体力、気力の育成</p> <p>ア すべての教科で「つきたい力」と「具体的方策」の明確化</p> <p>イ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進</p> <p>ウ 3年間を見通した進路指導</p>	<p>(1)</p> <p>ア・「学習指導 PT」が中心となって授業改善を行う。</p> <p>・「学習指導 PT」による経験の少ない教員の公開授業を推奨する。</p> <p>イ・ICT推進委員会を設置し、「生徒が思考する授業」、「力のつく授業」を目標に ICT 機器等の活用を推進するとともに、緊急時にオンライン授業を実施できる体制を充実させる。</p> <p>・業務の効率化を図る。</p> <p>ウ・進路指導部が主導し、学年団と連携の上、3年間を見通した進路指導を実施する。</p> <p>・進路指導部が学校全体で調整、策定した進学講習を系統的に実施する。</p> <p>・模擬試験後、進路指導部と学年団が連携して分析会を実施し、生徒の情報を共有する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・公開授業・研究協議を年間6回以上実施する。[9回]</p> <p>・授業アンケート「授業内容に興味・関心を持つことができた」「知識や技能が身に付いた」3.3以上を維持する。[3.3、3.3]</p> <p>イ・学校教育自己診断「ICT機器がよく活用されている」95%を維持する。[95%]</p> <p>・業務の効率化の方策を検討する会議を年間5回以上開催する。時間外勤務時間(一人当たり平均)を5%減少させる。[292時間(4月～2月)]</p> <p>ウ・系統的な進路HRを5回以上実施する。[5回]</p> <p>・進学講習を3年生は15講座以上[15講座]、2、1年生は3講座以上[-]実施する。</p> <p>・模擬試験後の分析会を3回以上実施する。[3回]</p>	<p>ア・学習指導 PT が中心となって、公開授業を10回行った。次年度も引き続き取り組んでいきたい。(○)</p> <p>・授業アンケート「授業内容に興味・関心を持つことができた」「知識や技能が身に付いた」はそれぞれ3.4、3.5であった。(○)</p> <p>イ・学校教育自己診断「ICT機器がよく活用されている」は96%であった。(○)</p> <p>・業務の効率化の方策を検討する会議を年間5回開催した。時間外勤務時間(一人当たり平均)は4月～2月で356時間であった。(△)</p> <p>ウ・進路HRを7回実施し、進路だより等による補完も行った。(○)</p> <p>・3年夏期講習13講座、冬期講習6講座 2年夏期講習6講座、冬期講習8講座 1年夏期講習3講座、冬期講習3講座を実施した。(○)</p> <p>・模擬試験の分析会を3回実施した。(○)</p>
2 国際・科学高校としての質的な深化	<p>(1) 国際文化科と総合科学科のさらなる進化</p> <p>ア 課題研究の内容の深化</p> <p>イ ループリック評価の普及</p> <p>(2) 世界で通用する語学力とコミュニケーション能力の育成</p> <p>ア 授業や行事を通じた「使える英語力」のさらなる向上</p> <p>(3) SSH、ユネスコスクールの取組みの充実</p> <p>ア 課題研究の質的向上、国際共同研究、「住高支援ネットワーク」の充実</p> <p>イ 平和学習、人権学習の充実</p>	<p>(1)</p> <p>ア・探究サイクルを一般教科等に取り入れ、課題解決型の授業を実施する。特に、文系科目(英語、地理歴史、公民、国語等)での実施事例を増やす。</p> <p>イ・SSHの課題研究で用いているループリック評価を普及させるとともに、評価についての研究を進める。</p> <p>(2)</p> <p>ア・暗誦、ディベート等の指導やSE(スーパーイングリッシュ)、SK(スーパーコリアン)等の授業、英語合宿、スピーチコンテスト等の行事を引き続き系統的に実施する。</p> <p>(3)</p> <p>ア・SSC(スーパーサイエンスクラス)をより活性化させる。</p> <p>・「住高支援ネットワーク」のより有効な活用方法を模索する。</p> <p>イ・SDGsをテーマとした総合的な探究の時間、ユネスコスクール行事等を中心に平和学習、人権学習を充実させる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・国際文化科1年生の総合的な探究の時間で課題研究を実施し、その発表会を年間1回以上実施する。</p> <p>・探究サイクルを取り入れた教科の公開授業または事例報告を年間2回以上実施する。</p> <p>イ・学校教育自己診断「学習の評価は納得できる」90%以上を維持する。[90%]</p> <p>(2)</p> <p>ア・1年生で30人以上、2年生で60人以上がCEFR B1以上となるようにする。</p> <p>(3)</p> <p>ア・国際共同研究を実施し、年間1回成果発表会を実施する。</p> <p>イ・学校教育自己診断「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」90%以上を維持する。[94%]</p>	<p>(1)</p> <p>ア・課題研究の発表会を校内で1回実施し、校外の発表会にも参加した。(○)</p> <p>・探究サイクルを取り入れた教科の公開授業または事例報告を3回実施した。(○)</p> <p>イ・学校教育自己診断「学習の評価は納得できる」は94%であった。(◎)</p> <p>(2)</p> <p>ア・CEFR B1以上は、1年生20人、2年生62人であった。(△)</p> <p>(3)</p> <p>ア・国際共同研究をオンラインで実施している。2月に成果発表会を実施。(○)</p> <p>イ・学校教育自己診断「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」93%(○)</p>

府立住吉高等学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3 豊かな国際感覚、人権感覚の育成 世界で信頼され尊敬される品格と</p>	<p>(1) 人権を尊重する意識の向上 ア 人権HRのさらなる充実ときめ細かな相談支援体制の確立</p> <p>(2) 生徒の自主的な活動の充実 ア 自治会活動、部活動のさらなる充実</p> <p>(3) マナー・規範意識等の育成 ア 挨拶・清掃・遅刻指導の徹底</p>	<p>(1) ア・人権教育推進委員会を中心として、人権HR及び教職員研修の一層の充実を図る。 ・支援委員会、帰国渡日生を支援するGL(グローバルライフ)委員会、教育相談会を中心に生徒の支援体制の全校化を引き続き行う。</p> <p>(2) ア・自治会部を中心に生活指導部、学年団等と連携し、生徒が主体的に行う体育大会、学園祭等の行事やコンテスト等への参加を充実させる。</p> <p>(3) ア・生活指導部を中心に学年団と連携し、遅刻指導、自転車等のマナー指導、挨拶指導等の徹底を図る。 ・保健部を中心に学年団と連携し、定期清掃、大掃除時の取組みを強化する。</p>	<p>(1) ア・学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある」90%以上を維持する。[97%] ・学校教育自己診断「担任以外にも相談できる先生がいる」80%以上にす。[78%]</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断「学校行事には楽しく参加している」90%以上を維持する。[95%]</p> <p>(3) ア・学校教育自己診断「学校生活についての先生の指導は適切である」85%以上を維持する。[85%]</p>	<p>(1) ア・学校教育自己診断「人権について学ぶ機会がある」95% (○) ・学校教育自己診断「担任以外にも相談できる先生がいる」77% (△)</p> <p>(2) ア・学校教育自己診断「学校行事には楽しく参加している」95% (○)</p> <p>(3) ア・学校教育自己診断「学校生活についての先生の指導は適切である」88% (◎)</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------